

令和7年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

実施機関名(主事業の実施機関名)	国土交通省北海道開発局釧路開発建設部根室港湾事務所
ふ り が な	ほっかいどうはばまいちくちよつかつぎょうせいびじぎょう
1. 事業(施策)の名称	北海道歯舞地区直轄漁港整備事業
2. 事業(施策)実施期間(和暦)	平成 30 年 12 月 21 日 ～ 令和6年3月 29 日
3. 事業費(工事費)	4,674 百万円
4. キーワード	人工地盤、水産物流通効率化、高度衛生管理型市場、津波避難、海業
5. 事業概要	歯舞漁港は北海道根室半島先端部に位置する第4種漁港で、漁船の避難拠点に加え、タラ刺網、サケ定置網、貝殻島コンブなどの漁業の生産流通拠点として重要な役割を担っている。水産物の衛生管理、流通機能の効率化、大規模地震津波に対する防災機能向上を図るため、歯舞漁業協同組合が建設する高度衛生管理型市場と連携し、屋根付き岸壁、人工地盤及びアクセス道路を一体的に整備した。

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(b)既往技術の創意工夫、活用 (c)上記 a、b に係る調査研究・技術開発や 事業制度、施策の確立・実施	()
アピールする 2)「秀でた成果」	(a)当該事業による本来目的の効果 (b)コストの縮減 (d)生産性の向上 (f)地域の活性化 (g)バリアフリー・ユニバーサルデザインの実現	()

7. 特にアピールしたい点
【衛生管理・水産物流通・津波避難・都市漁村交流の複合機能を同時に実現】 歯舞漁港は利用漁船、漁獲量が多く、漁港内は漁業者や出荷車両により慢性的に混雑し、屋根付き岸壁不足も相まって、水産物の流通・衛生面に課題が生じおり、また、根室沖での巨大地震による津波に対する漁業者らの安全性の確保、水産庁が推進する海業振興への対応も課題であった。こうした中、直轄事業の屋根付き岸壁、人工地盤、アクセス道路整備、漁協事業の交流機能を併せ持つ高度衛生管理型市場整備が連携し、一体的に整備を進めたことにより、水産物の流通・衛生管理対策の向上、用地不足の解消、津波来襲時の一時避難機能、交流機能の同時確保を実現した。

8. 事業を代表する写真及びキャプション



9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

●事業の内容

歯舞漁港は、本土最東端の根室半島先端部に位置し、北方四島及びロシア水域を含む太平洋北部漁場におけるサケ・マス流し網等の沖合漁業のほか、刺網、サケ定置網、貝殻島コンブなどの沿岸漁業の流通拠点として重要な役割を担っている。

当漁港では、平成 23 年度までに屋根付き岸壁や清浄海水取水施設などのハード対策、漁獲物の床面直置き禁止やシートによる漁獲物の保護といったソフト対策による衛生管理対策が進められ、これらの取組により、魚価の安定化はもとより漁業利用者の衛生管理意識の高揚や水産物のブランド化の推進に寄与してきたが、更なる衛生管理対策の強化や漁業活動の効率化を推進するため、課題となっていた荷さばき所周辺の用地不足に伴う車両混雑を解消するとともに、切迫する大規模地震・津波災害に備えた防災・減災対策として、人工地盤、-3.5m 岸壁(屋根付き岸壁)、アクセス道路を整備したものである。

また、歯舞漁業協同組合(以下、歯舞漁協)が事業主体となって整備した高度衛生管理型市場と直轄による人工地盤等の漁港整備が連携し、相乗的な効果が得られた。

●事業の特徴

【既往技術の早期工夫、活用】

○プレキャスト部材を用いた工期短縮

人工地盤及びその他関連施設の整備と漁協主体の市場施設の建設時期が重複することから、作業の輻輳を軽減するために、人工地盤にはプレキャスト・プレストレストコンクリート(PCaPC)構造を採用した。これにより、工場製作したプレキャスト部材の組立が作業の主体となり、従来工法である S 構造よりも 6.7 ヶ月、RC 構造に対し 13.1 ヶ月の工期短縮となり、当該施設の早期供用に貢献したほか、高品質、高耐久性、省力化、コスト縮減も実現した。

【施策の確立・実施】

○漁業関係者・流通関係者等を交えた施設配置や規模の検討

本プロジェクトの具体化に向け、北海道開発局、学識経験者、漁業者、歯舞漁協、水産加工業者、運送業者、根室市、北海道(漁港管理者)等で構成される「歯舞漁港整備意見交換会」を組織し、2箇年、計6回に渡って議論を重ね、施設の模型や3DVR を用いて参加者の理解促進を図った上で、衛生管理対策(ソフト対策)や効率的な作業動線を考慮した施設配置の検討を行った。

【当該事業による本来目的の効果】

○衛生管理対策の強化

歯舞漁協事業の高度衛生管理型市場と連携し、新たに屋根付き岸壁及び人工地盤、トラック積込スペースを整備することにより、漁獲物の陸揚げ、運搬、荷さばき、出荷の一連の作業において、降雨、鳥糞、直射日光等の影響を軽減する環境が整えられた。また、市場内への車両の進入を禁止し、電動フォークリフトを導入するとともに、フォークリフトのタイヤ洗浄マットを設置するなどソフト対策も行うことで、衛生管理の更なる高度化が図られた。

○駐車場不足の解消による水産物輸送の効率化

当漁港の利用漁船数は 541 隻と非常に多く、漁業者の車両に加えて、出荷車両等の利用もあることから、盛漁期に漁港内が非常に混雑し、非効率的な水産物の輸送形態となっていた。人工地盤、駐車場、アクセス道路を新たに整備したことにより、盛漁期の車両の混雑が解消され、さらには市場背後に道路、出荷車両専用のトラックプールを整備することにより、出荷車両による搬出時間が約 0.5 時間/台削減され、水産物輸送の効率化が図られた。

○大規模地震・津波災害時における防災・減災対策強化

当漁港に開設されている市場は、周辺の6漁港で陸揚げされた漁獲物が搬入される地域の流通拠点となっており、大規模災害発生後も漁港機能を確保する必要があるが、陸揚岸壁の耐震性を強化することにより、災害発生後においても漁業活動の早期再開が可能となる。また、大規模な津波発生時は、人工地盤2F の駐車場に一時的に垂直避難し、アクセス道路を通って、背後地に避難可能となる。さらに、歯舞漁協が建設した市場施設には非常用電源設備が設置され、併設された防災一時待機室には、段ボールベッドや災害備蓄品が常備されており、直轄による漁港施設と歯舞漁協による市場施設の連携した整備により防災・減災対策の強化が図られた。

【コストの縮減】

○人工地盤と岸壁屋根の一体整備、プレキャスト部材活用によるコスト縮減

通常、岸壁への屋根架け整備を行う場合、基礎杭、地中梁、支柱、屋根材で構成されるが、今回の整備では屋根材を人工地盤に取り付けて一体的に整備したことで大幅なコスト縮減が図られたほか、人工地盤の施工にあたって、プレキャスト部材を多用したことにより、コスト縮減が図られた。

【生産性の向上】

○人工地盤壁と屋根の一体整備による生産性の向上

人工地盤に屋根材を取り付けたことで屋根の支柱が不要となり、岸壁上の支障物が無くなったことで、水揚げや荷さばき作業、フォークリフト動線がスムーズとなることで、漁業活動全体が効率化し、生産性が向上した。

【地域の活性化】

○歯舞漁協による交流機能を併せ持つ高度衛生管理型整備の効果

歯舞漁協が建設した市場施設の2F には、海業を支援する施設として、市場・セリ場の見学スペースが設けられ、漁業関係者以外の一般の方々も利用が可能である。また、直販所店舗、製品加工所、原料保管庫が一体的に整備されたことで、加工製品製造業の効率化が図られるとともに、地域水産物の PR 活動が強化され、都市漁村交流を通じた地域活性化への貢献が期待される。

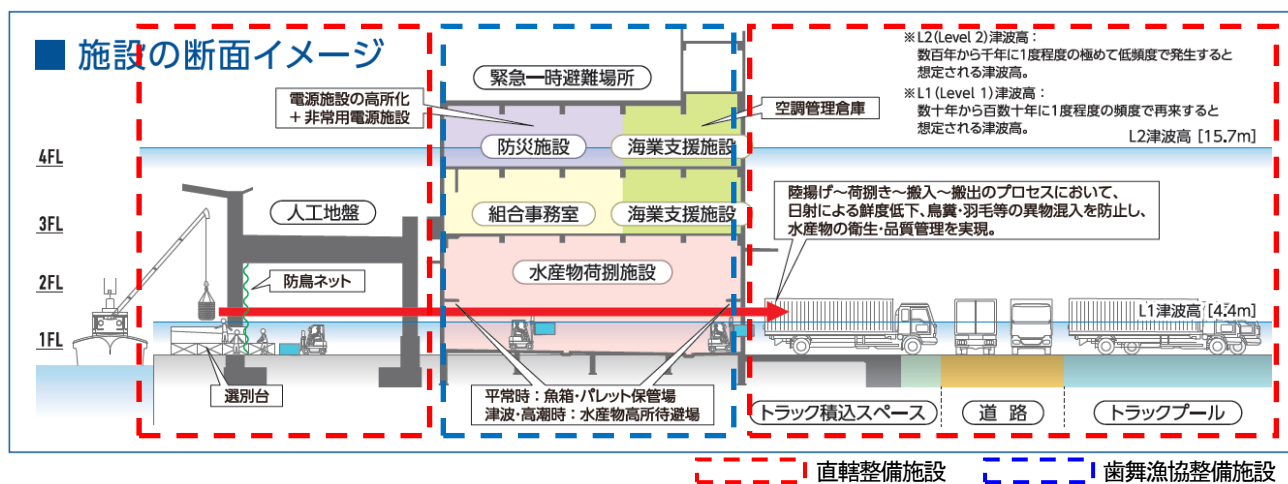
市場内には、滅菌処理海水装置、計量器付き電動フォークリフト、活魚専用の水槽、監視カメラ、荷受・荷渡電子システム等が導入され、高度衛生管理対策の徹底が図られるとともに、入札手続き等の効率化による省人化への対応が図られた。加えて、令和5年 12 月 27 日に(一社)大日本水産会の定める「優良衛生品質管理市場・漁港」に北海道で初めて認定され、歯舞ブランドの強化が期待される。

【バリアフリー・ユニバーサルデザインの実現】

○人工地盤と歯舞漁協事務室・直販所が同一フロアとなったことによる効果

以前の歯舞漁協事務室は旧市場2F にあり、急勾配の階段を上る必要があったが、人工地盤2F(駐車場)と同一フロアの新市場3F に移転したことで、来訪者は駐車場から直接事務室に行くことが可能となり、とりわけ高齢の漁業者らから負担が無くなったと喜ばれている。また、新市場3F には歯舞漁協直販所もあり、一般の方も来訪しやすい施設配置となっている。

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕



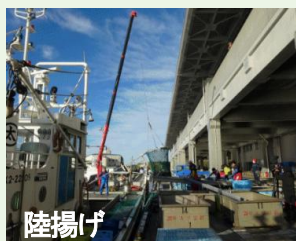
整備前の状況



施設配置・構造検討



衛生管理対策



都市漁村交流の推進



防災・減災機能



工期短縮

